

# 事業評価シート（平成23年度分）

## 1. 事業の位置付け

事務事業名	馬入花畑整備事業		
事業担当	まちづくり事業部 みどり公園・水辺課		
事業種類	○ハード ●ソフト		
総合計画の位置付け	'03	基本目標3 人と自然が調和した、やすらぎのあるまち	
	'02	②〈住みごこち〉人にやさしい居住空間をつくる	
	'02	2 身近な生活環境を充実する	
根拠法令等			
対象・受益者	市民、水辺利用者	事業期間	
委託、協働	【委託： <input checked="" type="checkbox"/> 3セク・財団 <input type="checkbox"/> 企業 <input type="checkbox"/> NPO <input type="checkbox"/> その他 】 【協働： 馬入花畑の会 】		
目的・目標		事業の概要	
馬入の花畑「馬入・光と風の花づつみ」が、市民に愛され、魅力ある花畑になっています。		馬入の花畑「馬入・光と風の花づつみ」が愛され、魅力ある花畑とするため、市民との協働による維持管理を行います。	

## 2. 事業の検証

活動指標①	指標名	イベント開催回数			単位	回
	説明・算定式					
		平成21年度	平成22年度	平成23年度	平成24年度	
	目標	2	2	2	2	
	実績	2	2	1		
活動指標②	指標名				単位	
	説明・算定式					
		平成21年度	平成22年度	平成23年度	平成24年度	
	目標					
	実績					
成果指標①	指標名	イベント時来場者数			単位	人/回
	説明・算定式					
		平成21年度	平成22年度	平成23年度	平成24年度	
	目標	9500	9600	9700	9700	
	実績	4100	11000	3500		
成果指標②	指標名	年間ボランティア参加者数			単位	人
	説明・算定式					
		平成21年度	平成22年度	平成23年度	平成24年度	
	目標	610	620	550	550	
	実績	543	620	718		
進捗状況	③：遅れている					
	遅れている理由	コスモス摘み取りイベントが雨天のため中止となったため。				
平成23年度の主な取組と成果						
6月にポピーの摘み取りイベント実施、10月のコスモスの摘み取りイベントは雨天中止となったものの、花畑の存在はマスコミに大きく取り上げられ、問合せは前年を上回るものがありました。また、ボランティア団体の「馬入花畑の会」は活動の功績を認められ、その活動が広く認知されました。						
平成23年度の検証結果	B：おおむね成果があがった					

事業分析	項目	分析の視点	先の視点に関する分析・課題の抽出	総合評価
	必要性	<input checked="" type="checkbox"/> 市民ニーズ <input type="checkbox"/> 事業目的の達成状況 <input checked="" type="checkbox"/> 市の関与の必要性 <input type="checkbox"/> その他	季節ごとの花が咲く花畑は市民の憩いの場として高い関心が寄せられています。約3haの花畑をボランティア組織だけで維持管理することは難しいため、市の関与の必要性は高いと思われます。	● 高 ○ 低
	有効性	<input type="checkbox"/> 上位施策への貢献 <input checked="" type="checkbox"/> 市民満足度を高める方策 <input checked="" type="checkbox"/> 継続による成果向上の可能性 <input type="checkbox"/> その他	花の生育は暑さや台風など自然環境に影響され、イベント開催も天候に左右されます。その中で、市民満足度は高いものがあり、事業を継続することにより、観光資源としての有効性は高いと思われます。	● 高 ○ 低
	妥当性	<input checked="" type="checkbox"/> 事業の目的、対象、内容 <input type="checkbox"/> 受益者負担、補助額 <input type="checkbox"/> 業務の執行体制(人員配置、業務分担) <input type="checkbox"/> その他	本事業の当初目的は河川敷の不法投棄対策を発端として行われましたが、今後は観光資源としての充実を図る必要があります。	○ 高 ● 中 ○ 低
	効率性	<input type="checkbox"/> 業務プロセス改善による効率化の方策 <input type="checkbox"/> コスト削減の可能性 <input checked="" type="checkbox"/> 事業手法(民活の余地、事業形態の検討) <input type="checkbox"/> その他	ボランティア組織の拡充や短期的な活動の受入れ及び地元、企業参加等の拡大を図っていく必要があります。	○ 高 ● 中 ○ 低
今後に向けた課題の分析		休耕畑、土壌研究、開花時期調整など手法の工夫を行い「魅力ある花畑」を目指す必要があります。また、ボランティア組織の拡充も課題です。		

## 3. 年度別事業内容・決算額

(単位:千円)

		平成21年度 決算額	平成22年度 決算額	平成23年度 決算額	平成24年度 予算額
事業内容		各種イベントの開催・あ ずまの検討	各種イベントの開催、あ ずまの検討	各種イベントの開催、 パーゴラの検討	各種イベントの開催、 パーゴラの検討
財源 内訳	国庫支出金	0	0	0	0
	県支出金	0	0	0	0
	起債	0	0	0	0
	その他 特財	0	0	0	0
	一般財源	16,348	13,638	13,216	13,096
事業費 (A)		16,348	13,638	13,216	13,096
執行率 (%)		94.85	95.80	97.59	
内訳	職員 (人)	0.98	0.94	1.10	1.05
	再任用 (人)	0.00	0.00	0.00	0.00
人件費 (B)		8,189	7,764	8,915	8,416
フルコスト (A+B)		24,537	21,402	22,131	21,512

## 4. 今後の事業展開(担当課としての提案)

平成25年度の取組方針	来場者満足度向上のため、観光資源として花畑の充実を図ります。 花畑ボランティア活動は、社会貢献の場として地元企業や学生への参加PRをすることで、その拡充を図ります。
課長コメント	今後は開花時期調整や土壌研究により、花畑の魅力を広く周知することにより、さらなる観光の拠点となるよう努めていきます。